

保護者の皆様

仙台市立中田小学校
校長 今野 孝

地震災害時・緊急時の対応について

陽春の候、皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。
日頃より、当校の教育活動に御理解と御協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて東日本大震災から11年が経過しましたが、引き続き地震等の自然災害に対する備えをしっかりと行うことが重要と考えているところです。

つきましては、地震発生時・緊急時の中田小学校の対応についてまとめましたので、御確認いただきますと同時に、災害時等の対応について御理解と御協力をお願いいたします。



記

○ 在校時間中の地震発生時

東日本大震災の時は、すぐに電気の供給が止まったため、一斉メールを活用することが難しくなりました。今後も同様のことを想定し、以下の対応を設定しました。（停電とならない場合は一斉メールでお知らせしますが、場所や場合によってはメールが届かない、あるいは受け取ることができないことがあるかもしれません。）

震 度	児童の行動	教職員の対応
仙台市で 震度5強以上	引受人に「引き渡し」を行う。	
	・学校待機とし、保護者が指定した引受人を待つ。	・保護者が指定した引受人に児童を引き渡す。
仙台市が 震度5弱以下	通常下校 または 一斉下校	
	・通学路の安全確認後、通常下校 または学年一斉下校をする。	・通学路の安全確認を実施する。 場合により、要所に立つ。

※ 「引き渡し」について

児童の安全を考慮し、学校での引き渡しとなった場合には、次のような対応をします。

- ・引き渡しカード（児童個票の裏面）にあらかじめ登録されている引受人の方に直接お子さんを引き渡します。
- ・引き渡しができない場合、迎えが来るまでは、どんなに遅くなっても学校に児童を待機させておきます。
- ・児童館の児童についても学校で引き渡しをします。
- ・今年度も引き渡し訓練を行います。詳細は後日お知らせいたします。

○ 児童登下校中の地震発生時

震 度	児童の行動	教職員の対応
仙台市で 震度5強以上	・地震発生時は頭部を保護し、身を低くする。車道には出ない。 ・建物、ブロック塀、窓ガラスから離れる。 ・揺れが収まったら、状況に応じて公園、学校等の避難場所に避難する。 ・家族がいないときには、家には帰らない。 ・津波が想定される場合には、校舎屋上やビルの屋上等に避難する。	・通学路上の児童の安否を確認する。 ・保護者、地域の方と連携し、児童の所在を確認する。 ・すでに登校している児童、まだ下校していない児童は、学校に待機させ、保護者が指定した引受人に児童を引き渡す。
仙台市で 震度5弱以下	・車道に出ず、身の安全を第一に考え、気を付けて登下校する。	・通学路の安全確認をする。場合により、要所に立つ。

万が一の場合に備えて、もし大人の人がいなかったときにどのように対応するかという約束を御家庭で相談して決めておいてください。なお、中田小学校は、地震や津波の際の避難所になっています。

我が家の約束

家族との連絡方法

待機場所(家が危険で入れない場合など)



○ 児童に危険が及ぶような事態が発生した場合

☆地震以外の災害や近隣での凶悪犯罪等が発生した場合、Jアラート等の緊急情報が発表された場合には、以下のような対応を行います。

【登校指導】

登校時の危険が考えられ、特に安全を確保する必要がある場合は、教職員が交差点や横断歩道などで、登校指導を行う。

【下校指導】

下校時の危険が考えられ、特に安全を確保する必要がある場合は、入手した情報から危険度を設定し、以下の対応を行う。

レベル1：他の地域に限定した情報で、中田地区にほとんど影響がないと考えられる場合。

《 近くの友達と一緒に下校させる 》

レベル2：近隣の地域に限定する情報で、注意が必要と考えられる場合。

《 学年、または全校で一斉下校とし、教職員が地域巡視を行う 》

レベル3：児童のみで下校させるには危険性が高い場合。

《 保護者への児童の引き渡しを行う 》